

鯨と海の科学館の案内は

今後検討する



菊地 光明 議員
(新 生 会)



補修が必要な案内板

問 鯨と海の科学館の補修工事が完了し、開館準備が進んでいるようだが、肝心の案内板が従来のままのようだ。国道45号沿いの案内板の補修はどのようになっているのか示せ。

答 案内板については、2つの課が管理していると思うが、**武藤水産商工課長** 平成4年設置の古い案内板については、今後修繕を検討する。

佐々木教育長 7月15日に再開する鯨と海の科学館の案内板については、県営の防潮堤工事に伴い、迂回路からの連絡となることから案内板を設置することとしている。また鯨と海の科学館で設置した既存の案内板についても補修を予定している。

防火水槽の設置計画は

全体状況を把握する

問 各地区の高台工事も順調に進み移転が始まっているが、それに伴い浜川目地区から大浦地区の各団地について防火水槽設置はどうなっているのか。

佐藤町長 各地区の高台団地の防火水槽の設置だが、大沢地区は第1団地が2基、第2団地および浜川目団地が各1基、織笠地区は第1団地が3基、第2団地が1基、船越・田の浜地区は第1団地が3基、第2団地および第5団地から第8団地が各1基設置している。大浦地区は大浦北および大浦南団地については、両団地を水利範囲として1基設置している。山田地区は第1団地に2基、第3団地に1基を設置する計画としている。

富な大沢川がある。ニュータウンについては防火水槽は設置されていない。今後、総合計画の中で検討していきたい。
問 検討予定はないのか。
甲斐谷復興企画課長 必要防火水利については、個々に条件が違うが、必要な施設とされている。全体の状況を把握した上でどの場所を急ぐのか検討していきたい。

問 住宅戸数の増加が著しく、また競技スポーツ等来客数の多い山谷地区の総合運動公園とその向



防火水槽設置が望まれる山谷地区

その他の質問

- ◆ 緊急雇用で起業した人は
- ◆ 戸建て住宅の入居者は
- ◆ 希望郷いわて国体のレガシーは